

特定の話題

2011.3.11 M9.0 地震発生

救援ボランティア募集開始

受け入れ相談可能な病院一覧



2011.3.11 M9.0 地震発生

<対策本部の開設>

東北地方を中心として3月11日午後2時45分ごろ、大地震が発生。結果的には1000年に一度の大規模な地震であったことが分かり予想もできない甚大な被害を及ぼすことになりました。被害を受けた地域の療養を必要とする方々を、当協会でもどのように支援していけばいいものか緊急に3月15日に話し合いを開きました。その結果、3月22日から災害対策本部を日本医療社会事業協会事務所内に設置いたしました。関東地方を中心に当番ボランティアが待機し、被災地の医療ソーシャルワーカー

を支援するための、受け入れ相談のできる病院情報の集約を開始しました。ホームページに受け入れに関するフォームが掲載されていますので、これからでもかまいません相談できる可否について、また現地派遣のボランティア活動ができるかどうかについて、各会員が検討しより多くの方々から情報提供をいただければ幸いです。

現在申し出をしてくださっている医療機関は別紙掲載しておりますが掲載以外にもお申し出下さっている医療機関23施設です。ボランティア希望の申し出の

会員は11名申し出てくださいています。

<全国の会長会との連携>

一昨年から活発に動き出しています各都道府県会長会のネットワークを使い、情報の発信を迅速に行っています。日本協会の動きをより速やかに会員や会員外の保健医療分野のSWに知らせるためにメーリングリストを使って情報収集に努めています。

義援金及びボランティア募集

<義援金募集について>

当協会では義援金募集も開始しております。

郵便振り込み口座

口座名義: 日本 MSW 協会災害支援金

口座番号: 00100-1-89515

3月23日現在 337,000円

<ボランティア募集>

①当協会事務所での当番ボランティア

時間: 10時から17時(都合の良い時間

でご協力ください。)

②被災地の避難所の相談所でのボランティア

要請があれば直ちに派遣。社会福祉専

門職団体協議会の4団体で協力体制を

とって派遣します。(詳細はホームペー

ジに掲載いたします。)

相談可能な医療機関一覧

	地域	施設名	機能	受け入れ条件	相談窓口
1	北海道	登別厚生年金病院 〒059-0598 住所: 登別市登別温泉町133 電話0143-84-2165 FAX0143-84-3206	二次救急、一般病床、療養(医)、回復期リハ、リハ	軽症、中・軽等、傷の整形外科疾患(5名程度)、内科・リハ疾患(5名程度)	地域医療連携室 太田 (MSW)
2	北海道	北海道がんセンター 〒003-080 住所: 札幌市白石区菊水4-2-3-54 電話011-811-9111 FAX011-811-9110	一般病床	癌患者の実受け入れ可。癌治療を希望される場合は、原則、診療情報提供書が必要。医師同士の連絡でも可能。重・軽・身寄りなし・家族行方不明・保険未確・帰宅先なしOK	がん相談支援情報室 木川 (MSW)
3	北海道	道南ロイヤル病院 〒049-4501 住所: 久遠郡せたな町北松山区北松山322-4 電話0137-84-5011 FAX0137-84-6640(直通)	療養(医)、リハ、透析、障害者病棟	まずは、ご相談ください。軽・身寄りなし・家族行方不明・保険未確・帰宅先なしOK	工藤、渡邊、藤田 (MSW)
4	北海道	愛心メモリアル病院 住所: 札幌市東区北27条東1-1-15 電話011-752-3535 FAX011-752-8635	透析(入院・外来)	日本透析医会に登録している内容のみ受入可(透析: 月・水・金10名、火木土10名)	地域医療部 高倉 (MSW)
5	北海道	函館稜北病院 住所: 函館市中道2-51-1 電話0138-31-1791 FAX0138-52-4341	一般・回復期リハ・リハ	重・軽・身寄りなし・家族行方不明・保険未確・帰宅先なしOK	青木 (MSW)
6	北海道	名寄三愛病院 〒096-0031 住所: 北海道名寄市西一条北5丁目1-19 電話01654-3-3911	一般病床・療養(医)透析	受け入れについては、本人家族と話をしてから判断をしたいと思います。透析患者は、1~2名可能です。	榎 (MSW)
7	北海道	北海道社会事業協会洞爺病院 住所: 北海道虻田郡洞爺湖町高砂町126 電話0142-74-2775	一般病床・療養(医)回復期リハ・リハビリ・透析	未記入	地域医療福祉連携室 (郡司)
8	山形	舟山病院 〒992-0027 住所: 山形県米沢市駅前2-4-8 電話0238-23-4435 FAX0238-22-2929	二次救急・一般病床・療養(医)・リハ	重・軽・身寄りなし・家族行方不明・保険未確・帰宅先なしOK	渡部 (MSW)
9	千葉	亀田総合病院 亀田クリニック 〒296-8602 住所: 千葉県鴨川市東町929 電話04-7092-2211 FAX04-7099-1121	救命救急・二次救急・回復期リハ・感染症病床・透析・人工呼吸器・麻薬処方・周産期母子医療	介護者・家族と一緒に暮らす居住の用意あり。訪問診療等でサポート可能。(重・軽・身寄りなし・家族行方不明・保険未確・帰宅先なしOK)	小野沢滋 (Dr) 佐藤杏 (MSW)
10	千葉	総泉病院 〒265-0073 住所: 千葉市若葉区更科町2592 電話043-237-5001 FAX043-239-0161	療養(医・介)	(重・軽・保険未確・帰宅先なしOK)(身寄りなし・家族行方不明不可)	地域連携室 林・飯島 (MSW)
11	東京	江戸川病院 〒113-0052 住所: 江戸川区東小岩2-24-18 電話03-3673-1221 FAX03-3657-0758	二次救急・一般病床・回復期リハ・透析・麻薬処方	すべて医師の判断によります。	地域連携室 女川

12	東京	東邦大学大橋病院 〒153-8515 住所: 目黒区大橋2-17-6 電話03-3468-1251 FAX03-3468-6191	二次救急・一般・麻薬処方	癌の治療(オペ・化学療法)と緩和ケアが必要な方(重・軽・保険未確・帰宅先なしOK)(身寄りなし・家族行方不明不可)	ソーシャルワーカー一室
13	東京	松井病院 〒146-0082 住所: 大田区池上2-7-10 電話03-3752-1111 FAX03-3752-1143	二次救急・一般・透析	軽症可	佐々木(MSW)
14	神奈川	新中川病院 〒245-0001 住所: 神奈川県横浜市泉区池の谷3901 電話045-815-2577	療養(医)	未記入	小向(SW)
15	神奈川	横浜仲町クリニック (高齢者共同住宅 レジデンス横浜) 〒224-0041 神奈川県横浜市都筑区仲町台5-6-11 電話045-942-5132	療養(介)、透析、認知症	透析クリニックは満床ですが、関連施設で受け入れ2部屋可能。通院透析のための通院可能。通院に際しては車椅子座位30分以上の軽度の介護度の方。(送迎付き)	三澤(MSW)
16	神奈川	小松会病院 〒252-0325 住所: 神奈川県相模原市南区新磯野2337 電話042-744-6731 FAX042-744-6755	療養(医・介)	軽症可、身寄りのない方可	飯野(MSW)
17	神奈川	望星関内クリニック 〒231-0048 住所: 横浜市蓬萊町-4-1横浜大通り公園ビル9F	通院透析	通院透析のみ可能(数名)身寄りのない方、家族が行方不明、保険証未確認可能	小窪(MSW)
18	神奈川	丘整形外科病院 〒252-0325 住所: 神奈川県相模原市南区新磯野2-7-10 電話042-748-1201 FAX042-748-1271	二次救急・一般・養(医)・リハ・整形・形成OP可・(整形・形外・内・脳外・神内)	人工呼吸器・透析以外は受け入れ可。終身は困難ですが、退院時の相談可能。(重・軽・保険未確・帰宅先なしOK)(身寄りなし・家族行方不明不可)	地域連携室室長 香島(MSW)
19	神奈川	相模原協同病院 〒252-5188 住所: 神奈川県相模原市緑区橋本2-8-18 電話042-772-4291 FAX042-773-2694	二次救急・一般・透析・人工呼吸・麻薬処方・小児救急拠点(夜間受け入れ不可)	条件は 個別に相談	患者総合支援センター
20	神奈川	ピースハウス病院 〒259-0151 住所: 神奈川県足柄郡中井町井ノ口1000-1 電話0465-81-8900 FAX0465-81-5520	緩和ケア・ホスピス	末期がん(重・軽・身寄りなし・家族行方不明・保険未確・帰宅先なしOK)	地域連携室
21	神奈川	大倉山記念病院 222-0001 横浜市港北区樽町1-1-23 電話045-531-2546 FAX045-531-2540	一般病院・透析	一般は空きベッドの状態ですが、6床検討、透析は3床(日本透析医会情報ネットワーク登録)軽・身寄りなし・家族行方不明・保険未確・帰宅先なしOK	富永(MSW)
22	神奈川	相模原中央病院・介護老人保健施設 田名光生 〒252-0236 住所: 相模原市中央区富士見6-4-20 電話042-754-2211 FAX042-751-5329	二次救急・一般病床・リハ・人工呼吸器・麻薬処方	重・軽・身寄りなし・家族行方不明・保険未確・帰宅先なしOK 急性期の方対象、その他	斎藤・和田(MSW)
23	神奈川	ふれあい東戸塚ホスピタル 〒244-0806 住所: 横浜市戸塚区上品濃16-8 電話045-827-2637 FAX045-827-2647	一般病床・透析・リハ	軽症可能・家族が行方不明・保険未確認・帰る家なし可能	二階堂・高智・日下(MSW)

24	神奈川	綾瀬厚生病院 〒252-1103 住所: 神奈川県綾瀬市深谷 38150467-77-5111 電話0467-76-3331 FAX0467-77-5111	二次救急・一般病 床・療養(医)	3月24日現在、整形外科(手術 適用の方)10~15名程度受 け入れ可。療養病床も若干名 入れ可能。重・軽・身寄りなし・ 保険未確・帰宅先なしOK 身 寄りのない人は、行政が代りに なってくれるれば可能。重症者は 要相談。まずは、直接電話をく	片岡(相談員)
25	岐阜	早徳病院 〒500-8367 住所: 岐阜県岐阜市宇佐南1-8-1 電話058-272-3253 FAX058-273-6375	一般、療養(医)、リ ハ、透析、麻薬処方	現在満床、調整後の受け入れ (軽・身寄りなし・家族行方不 明・保険未確・帰宅先なしOK)	佐々木(MSW)
26	静岡	袋井市立袋井市民病院 〒437-0061 住所: 静岡県袋井市久能2515-1	一般病床	病状や状況について、事前に 確認(ご連絡)をお願いします。	竹澤真寿実 (MSW)
27	京都	相馬病院 〒602-8386 住所: 京都市上京区御前通今小路下 ル南馬喰町911 電話075-463-4301 FAX075-463-4373	二次救急・一般病床	軽症可、ベッドに限りがあるの でお受けできない場合もありま す。	地域医療連携 室 大堂 (MSW)
28	京都	川越病院 〒606-8412 住所: 京都市左京区浄土寺馬場町48 電話075-771-2972 FAX075-771-0725	精神病床(開放・閉 鎖)	まず、電話にてご相談くださ い。できる限り対処します。	医療福祉相談 室
29	兵庫	公立神崎総合病院 679-2414 兵庫県神崎郡神河町栗賀町385 電話0790-32-1331 FAX0790-32-2364	一般病床・リハ・透 析	事前に診療情報等をいただき 入院の可否、ベッド調整等検 討させていただきます。兵庫県 医務課へ4~5件の受け入れい 可能との回答済み	地域連携室 谷 (MSW)
30	兵庫	神戸アベンシチスト病院 〒651-1321 住所神戸市北区有野台8-4-1 電話078-981-0233 FAX078-981-0233	一般病床	4床まで受け入れ可能。ただし この情報は県からの依頼。全 日本病院協会、日本病院会に も提供しています。保険確認で きない可能。	地域連携室 三浦(MSW)
31	奈良	西奈良中央病院 〒631-0024 住所: 奈良市百楽園5-2-6 電話0742-43-3333 FAX0742-43-8607	二次救急・一般・リ ハ・透析・麻薬処方・ 認知症	軽・身寄りなし・家族行方不明・ 保険未確・帰宅先なしOK	地域連携室部 長 上野
32	山口	済生会下関総合病院 〒759-6603 住所: 山口県下関市安岡町8-5-1 083-262-2300 083-262-2301 083-262-2321(相談室直通FAX)	二次救急・一般病床	未記入	医療相談室 森脇(MSW)
33	香川	国立病院機構 善通寺病院 〒765-8507 住所: 香川県善通寺市仙遊町2-1-1 電話0877-62-2617 FAX0877-62-0205	二次救急・一般病 床・リハ・透析・人工 呼吸器・麻薬処方	重症・軽症可能、その他は、随 時ご相談に応じていきますが、 現時点では検討段階です。	時岡(MSW)
34	大分	玄々堂高田病院・有料老人ホーム 〒879-0615 住所: 大分県豊後高田市界378-2 電話0978-22-1134 FAX0978-22-3803	一般、療養(医)、リ ハ、透析、有料老人 ホーム	無記入	森本(MSW)



今後の活動について

今後、どのような活動を行っていく予定なのか、臨機応変に対応したいと考えています。被災地の SW と電話で話すと、淡々と大変な状況を語るその内容に、言葉を失います。チーム医療の関係でリハの団体の責任者と、地域医療の医師と、何よりもソーシャルワーク関係団体と、ソーシャルケア代表と、

現地入りのスケジュールなど、決まりましたら、随時ご報告します。情報は大量です。国民が一して熱心に取り組んでいる結果でしょう。

<大橋謙策氏来訪>

今日の対策本部は、電話は少ないが、開設し間もないこともあり朝から作業が続いていた。昼過ぎ、災害の規模や被災

人数もどの程度かわからない中、今後どのような活動をするべきか、笹岡会長、佐原氏、武山氏と対策本部の状況について情報交換をしていた。

事務局のドアのノック音が聞こえ、振り返ると教科書で見たことのある人が…。近くに来たからと等災害対策本部に大橋謙策氏が激励に訪れて下さった。

大橋氏、笹岡会長等々、4人で緊急の対策会議が始まった。

滞在時間は十数分だったが、さすが大橋氏。重要な事項をしっかりとメモされ、対策本部を後にされた。

私も数度は大橋氏の講義を受けたりお見かけしたことはあるが、突如隣に座り話を聞ける機会が訪れるとは…。こんなことはめったにあることではなく興奮状態になってしまった。

しかし、今日の対策本部でも話題に上がったが、我々ソーシャルワーカーがこの大地震で何ができるのか？いろいろと意見を出しながら検討したい。

(その他何か話題があれば・・・)

日本経済新聞の文化欄は、大震災以後文化人の真摯な思いが語られています。今日は建築家の坂茂氏。「善意の積み重ね」氏は様々なことを述べ、最後に「社会的な影響力や知名度がある人々や企業もいち早い支援

に乗り出している。中にはこうした行為を売名行為と批判する人もあるだろうが、売名の何が悪いのかと言いたい。一人でも助かる人がいれば、一つでも喜ぶ顔が増えればいいのだから。」と

書きました。心から賛成します。

何かしたいという、善意の積み重ねに専門職としての力を注ぎ、一人でも多くの方の支援に頑張りましょう。